



式分方だより



令和7年8月29日

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/nbkte/>



温かさのあるものに触れ、つながること

校長 清水 隆司

「わくわくサマースクール」がこの夏も行われました。企画にご協力いただいた地域や保護者の方々、ボランティア（今回は卒業生の中高生ボランティアが多かったことが嬉しかったです）の方々に御礼申し上げます。また、多くの子供たちが参加し、学校が夏休みも居場所になり、地域の方と子供たちがつながり合える場になったことが嬉しく思います。

他校に同様の取組があるかというところではありません。形を変えた取組はあるものの、夏季休業日の2週間もの期間で行われるものは市内では聞いたことがありません。これも子供たちの知的な好奇心を高めてあげたいと願う地域の方々、積極的な行事やPTA活動に参加する等、取組に対する親和的な姿勢のある保護者の方々の存在があってのことです。そして、2学期開始前の2週間で学校に行く機会も増え、久々の学校に不安だった心が軽くなった子もいるでしょう。また、自然と規則正しい生活になって始業式からいいスタートになる…なんてことも副産物として子どもにとって良い影響があるのかもしれない。

わくわくサマースクールや親子料理教室等のような学校での企画の他にも、八王子市でも子供向けのワークショップもあり、また日本の首都東京ですから、博物館や美術館も多く、他道府県に比べたら多額の交通費をかけずに文化的な体験ができ、恵まれたところで生活をしています。

さて、この「わくサマ」が開催されている最中、愛知県のある市でスマートフォンの利用に関する条例案が市議会に提出されたという報道がありました。長い夏休み。式分方小学校に通う子供たちの保護者の皆様も「もうまったく、朝から晩までスマホみて！」と心穏やかではない時間を過ごされた方もいるのではないのでしょうか。この報道をどのように受け止めたのでしょうか。

スマートフォンやタブレット、ゲーム機等の長時間の利用による懸念は今に始まったことではありません。条例案が提出されたり、オーストラリアでは16歳未満のSNS利用を禁止する法律が議論されたりする時代。子供たちにはスマホの中の世界だけでなく、体験活動を通して、本物を知り、触れて感じ、そこにある温かさを感じさせたいと思っています。「わくサマ」で関わってくださった方々皆様が子供たちの笑顔を思い浮かべながら準備している姿と講座を楽しみに登校してきた子供たちの姿がつながるのを目の当たりにすると心から温かくなります。そして、講座の講師の方々も子供たちが喜ぶ姿からエネルギーをたくさんもらっているとも伺っています。人と体温が感じられる取組こそ忘れてはならないことだと改めて感じました。